

Topics 2年生理数科 SPP発電所見学

12月16日（火）理数科2年生は、SPP（サイエンスパートナーシッププログラム）「エネルギーについて考える」をテーマに、中部電力の発電所見学に行ってきました。

新しくて、世界でも最大級の発電所の1つである「碧南石炭火力発電所」海外からの視察もたくさん来ているようです。

科学館のような「碧南たんぴあ」の見学コース 雨でバスが遅れたため、その分見学できず残念でした。

→



知多の海を挟んで向かいに昭和41年から稼働している武豊火力発電所があります。当初は石炭火力でしたが、今は石油で動いています。

←12月16日は、とても寒い日で武豊火力発電所の2号機も稼働させる予定でしたが、不具合により停止。

所長さんから電力の安定供給がいかに大変で大切かを熱く語っていただきました。

雨に濡れる「武豊火力発電所 2号機」ほろほろでつぎはぎと不具合だらけで、壊れたら部品も製造中止で入手困難。でも今まで頑張って発電してきました。今年度でその役目も終わります。5年後にはこの場所に新しい発電所が建設される予定→

感想（生徒より抜粋）

- ・火力発電所では石油を燃やすイメージがあるが、ほとんどがLNG（液化天然ガス）か石炭だと知って驚いた。また、熱効率が良い発電機を使用しても6割程度なので、効率はそれほど良い物ではないことがわかった。
- ・武豊発電所では、再生可能エネルギーについてCO₂は出さないが、天候に左右され易く、需要と供給のバランスが取りづらいことがわかった。
- ・たけとよメガソーラーの最大発電量では、火力発電用のプロペラを廻すこともできないことが分かり、再生可能エネルギーで原子力の分をまかなうことは無理だと思った。

